

## オフィスソリューションフェアの開催について

当社は、これからのオフィス環境の提案を目的とした「オフィスソリューションフェア」を、初めて開催いたします。

当社は、多様化するお客さまニーズに迅速にお応えするため、ユーザの視点に立ち、有益な既存技術・資産と最新のIT技術を組み合わせることで、低コストで安定的なグループIT基盤を整備・構築することに取り組んでいます。このたびのフェアは、これまでの取り組みの一環として、協賛企業等と一体となって最新のオフィスソリューションを皆さまにご紹介するものです。

1. **開催日時** 平成17年9月26日(月), 27日(火)10時00分～17時00分  
(セミナー開催時間については別添資料参照)
2. **開催場所** 中国電力株式会社 本社(広島市中区小町4-33)  
1号館1階ロビー(展示会場), 2階大会議場(セミナー会場)
3. **開催概要**
  - (1) 展示  
ユビキタス・オフィス※をテーマに、モバイル／IP電話／映像／セキュリティ関連のソリューションを、デモンストレーションを交えてご紹介します。
  - (2) セミナー  
業界のキーパーソンの方々をお招きし、ユビキタス・オフィスの効用、有線・無線の融合(FMC)、さらには通信・放送融合ビジネスの展望などについてご講演いただきます。  
※ 社内外のどこにいても、机の前にいるのと同じように仕事ができるオフィス環境。
4. **入場料** 展示・セミナーともに無料
5. **主催** 中国電力株式会社
6. **協賛** アラクサラネットワークス株式会社／株式会社インフィニコ  
株式会社エネルギア・コミュニケーションズ／KDDI株式会社  
住友商事株式会社／住商情報システム株式会社  
株式会社ネットマークス／富士通株式会社／株式会社富士通総研  
フュージョン・コミュニケーションズ株式会社 (50音順)

7. お問い合わせ先 中国電力株式会社 情報通信部門 通信技術開発担当

担当 ながお かみて 長尾, 上手(電話:082-523-6480)

以上

(添付資料)

>>主な展示・セミナー内容

>>プログラム(セミナー開催時間)

## 主な展示・セミナー内容

### (1) 展示

#### a. FMC/IP電話ソリューション

- モバイル電話の機動力とパソコンなどの情報系の利便性を融合させたユビキタス・オフィスの一例をご紹介します。モバイルとして音声品質に定評のある構内PHSを主体として、様々なアプリケーションのデモンストレーションを実施します。また、デュアルモードIP無線携帯端末も展示します。
- 内、外線のVoIP化を容易に実現するデュアルVoIPゲートウェイによるIP電話ソリューションをご紹介します。

#### b. モバイルソリューション

- 携帯電話を用いたGPSマップ等のASPサービス<sup>※</sup>や個別ソリューションについてパネル展示、デモンストレーションを行います。  
※データセンターでアプリケーションを一括稼動し、ネットワークを通してその機能を提供するサービス

#### c. 映像ソリューション

- 手軽に会議資料の共有ができるTV会議システム、異メーカーTV会議端末の同時接続、映像コンテンツ作成システムなど、各種映像ソリューションについてデモンストレーションを交えてご紹介します。

#### d. セキュリティソリューション

- 不正侵入、情報漏洩、ウイルス、ワーム、DoS攻撃など、進化し続ける脅威からIPネットワークを保護するためのセキュリティソリューションをご紹介します。

### (2) セミナー

- a. 会場            本館(1号館)2階大会議場
- b. 参加費        無料
- c. 申込方法      当社インターネットホームページまたはFAXでお申込みください。事務局より折り返しメール等でご案内を差上げます。  
【申込締切日9月22日】  
なお、締切以前でも定員に達した場合はお申込をお断りすることがございます。  
また、本申し込みにより知り得た情報は、事前の参加人数把握と来場予定者分析のみに使用し、当社以外の第三者に漏洩することはありません。

≫ [プログラム\(セミナー開催時間\)はこちら](#)

## プログラム

[>> セミナーのお申込み](#)

■ 9月26日[月] 本館(1号館)2階大会議場(定員200名) [参加無料]

時間	内容
13時20分 ～ 13時40分	<b>主催者挨拶</b> 山下 隆(やました たかし) 中国電力株式会社 取締役副社長
A1  13時40分 ～ 14時40分	<b>『IP-PBXとPHSを活用したFMCソリューション』</b> <b>—現場を強くするユビキタス・オフィス—</b> 村田 光博(むらた みつひろ)氏 富士通株式会社 ネットワークサービス事業本部 プロジェクト統括部長(IPテレフォニーシステム担当) 日本の経営環境は、めまぐるしく変化しており、企業としてそれらの変化に、いかに対応していくかが重要となっています。日本企業の強みは、その優秀な現場にあるといわれており、現場の対応力が企業の競争力の源泉になるといわれています。現場を強くするためには、ネットワークのユビキタス化(いつでも、どこでも、誰とでも)が有効であるといわれており、今回、IP-PBXとPHSを活用したFMCソリューションによるユビキタス・オフィスの事例を紹介します。
A2  15時00分 ～ 16時00分	<b>『ユビキタス時代の安全管理』</b> <b>—複合化する脅威への備え—</b> 二木 真明 (ふたぎ まさあき)氏 住商情報システム株式会社 SSEカンパニー ネットワークセキュリティ事業部 副事業部長 IP網を基盤としたインターネット、企業情報ネットワーク、さらには電話網、映像伝送などの統合は、世界中どこにいても均等な情報アクセスが可能な「ユビキタス時代」の到来を予感させるものです。一方、情報網の広域化、統合化は、それに対する「脅威」をもまた増大させます。利便性と安全性のバランスをどのようにとっていくか、それが「ユビキタス時代」の重要な課題です。ハッキング技術を組み込んだコンピュータウイルスを例にとっても、脅威はより複合的なものになっています。変わりつつある脅威と、その対策について考えます。
A3  16時20分 ～ 17時20分	<b>『ユビキタス社会に向けてのギャランティードネットワークの役割』</b> <b>—IPv6の展開—</b> 新 善文(あたらし よしふみ)氏 アラクサラネットワークス株式会社 マーケティング本部 技術マーケティング部 主任技師 インターネットはユビキタス社会のインフラとなっており、信頼性や品質保証に関する要求が厳しくなっています。そのため、ベストエフォートからギャランティードネットワークに変化してきています。また接続される機器もサーバやPCといったものだけでなく、電話、家電など非常に多様なものとなってきており、ユビキタス社会の基盤としてIPv6が必須となってきました。本講演ではギャランティードネットワークへの変化とそれを支える技術およびIPv6の現状と今後について説明します。

[>> セミナーのお申込み](#)

■ 9月27日[火] 本館(1号館)2階大会議場(定員200名) [参加無料]

時間	内容
<p>B1 13時30分 ～ 14時30分</p>	<p>『法人市場におけるKDDIモバイルソリューション戦略』 —モバイルでビジネスを変える—</p> <p>中島 昭浩(なかしま あきひろ)氏 KDDI株式会社 モバイルソリューション事業本部 モバイルソリューション商品開発本部 商品企画部 部長</p> <p>ビジネスにおいても携帯電話の活用が進み、あらゆるビジネスシーンにおいてモバイルは必要不可欠なツールとなっています。KDDIは、ビジネスシーンでの利用で求められるスピード、安全性、効率性等に優れた様々なソリューションをご用意し、お客様にモバイルを活用した新たなビジネススタイルをご提案します。デバイス(端末)の進化とサービス・アプリケーションの融合していく将来的なFMC構想のイメージを加えながら、エネルギー・コミュニケーションズとジョイントして中国電力に提供しているモバイルソリューションを含め、具体的な取り組みをお話しし、その魅力についてご紹介をいたします。</p>
<p>B2 14時50分 ～ 15時50分</p>	<p>『デジタル放送に関連する技術とサービスの動向』</p> <p>小林 和正(こばやし かずまさ)氏 日本放送協会 営業局・視聴者技術センター 担当部長</p> <p>2003年12月に東名阪地域で開始された地上デジタル放送では、これまで家庭の居間等に設置されたテレビを対象とするハイビジョン放送を中心に、サービスを展開してきました。これに加えて、2006年春頃からは、携帯型の受信機や携帯電話そのものでも地上波のテレビ放送が楽しめる携帯端末向けのサービスが開始される予定です。これを可能とする技術の仕組みや技術規格のあらまし、放送と通信が連携する新しいサービスのイメージなどについて解説します。</p>
<p>B3 16時10分 ～ 17時10分</p>	<p>『ユビキタス時代に向けての通信・放送融合ビジネスの方向性』 —トリプル・プレイからクアドルプル・プレイへ—</p> <p>佐々木 一人(ささき かずと)氏 株式会社 富士通総研(FRI) 取締役 S&amp;Cコンサルティング事業部長 プリンシパルコンサルタント(主席研究員)</p> <p>ユビキタス社会の実現が視野に入ってきた今日、有線・無線の有機的な融合(FMC)をめざして多彩な取り組みが推進されています。とりわけ、通信と放送の融合ビジネスに関しては、『トリプル・プレイからクアドルプル・プレイへ』をキーワードに、多様な展開を見せはじめています。本講演では、加速度を増しつつあるユビキタス時代に向けての通信・放送融合ビジネスの現状を概観し、今後のビジネス展開の方向性について私見を紹介いたします。</p>